

天然物由来機能材料GT-S液による糞尿の脱臭技術

概要

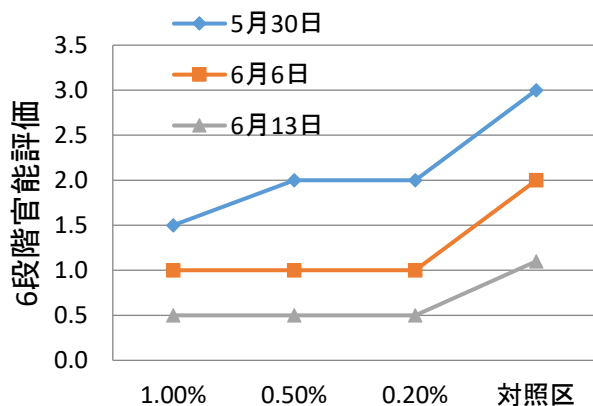
- 従前より現場が抱える課題の一つである家畜、特に鶏や豚の糞尿の悪臭は職場の環境を悪化し、近隣住民に環境負荷を負わせており、この悪臭を抑制する目的で天然物由来機能材料（GT-S液）を開発。
- GT-S液は、植物と土壌菌群で構成される環境浄化剤で、フミン酸、多種のアミノ酸やミネラルが含まれ、脱臭効果が立証されており、また、食品衛生法に基づく清涼飲料水としての規格に準じた試験に適合し、安全性は担保。
- 鶏や豚の糞尿の脱臭にGT-S液を使用する方法として、飲水として投与方法と飼料に添加する方法(資料[3])の2つの方法があり、その糞尿の臭気を6段階で官能評価。両方法とも、優位に脱臭効果あり。
- GT-S液のもう一つの特徴は、成長促進効果があり、飼料要求率の向上、プロダクションスコアの向上、飼養コスト軽減に寄与。

導入効果

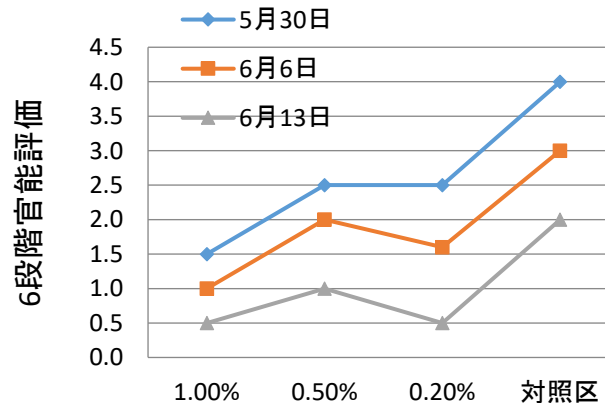
- GT-S液を飼料に添加し、ブロイラーに給餌した試験にて、飼料への添加率が、1%で最も脱臭効果があったが、0.5%、0.2%においても対照区と比較して優位に脱臭効果を確認。（下記グラフ参照）
- GT-S液をブロイラーの初生時から出荷時まで、1.0%、0.5%及び0.2%の飼料への添加は、ブロイラーの発育に好影響を及ぼし、GT-S液を飼料に添加した場合、添加しない場合より正肉100g当たりの飼料費は、よりコスト安。飼料要求率も、飼料に添加した場合の方が低く、経営面で優位。

ブロイラー7週齢直後及び6時間後の6段階臭気官能検査結果(2019/4/11~2019/5/30)
(GT-S液を飼料に添加した場合と対照区の比較)

糞の臭気(7週齢直後5/30~6/13)



糞の臭気(7週齢6時間後5/30~6/13)



カナジアジャパン株式会社
CANASIA JAPAN

○ 対象品目

水稲	畑作	露地野菜	施設園芸	果樹
茶	花き		林業	
酪農	肉用牛	養豚	養鶏	飼料作物
沿岸漁業	養殖業	沖・遠洋漁業	その他水産業	その他

○ 開発等の段階

開発/実証中	
モニター販売中	
一般販売中	1998年1月~
その他	

☎ 連絡先
カナジアジャパン(株) ペーパー化学品
TEL:06-4963-3157
<http://canasiajapan.xsrv.jp/masanao.toyama@canasiasp.com>